

# 県立延岡病院

## ■病院の概要

■ 病院長	柳邊 安秀
■ 所在地	延岡市新小路 2-1-10
■ TEL	0982-32-6181
■ 研修実施責任者	寺尾 公成
■ 病床数	460 床
■ 年間入院患者実数	8,215
■ 一日平均外来患者数	431
■ 救急取扱患者数	6,456



(平成 29 年度実績)

## ■研修受入診療科

内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科・周産期科、耳鼻咽喉科、麻酔科、救命救急科、臨床検査科、病理診断科

## 研修施設の特徴

本院は、病床数 460 床、20 診療科並びに 5 センター（救命救急、心臓血管、脳神経、周産期、消化器）を有する急性期型病院で、延岡西臼杵医療圏と日向入郷医療圏の 2 つの医療圏の二次・三次医療を担っています。がん診療や救急医療を数多

く手がけ、高度先進医療手術数も宮崎県下有数を誇っています。平成 25 年 3 月からは、屋上ヘリポートを備えた新救命救急センターが運用を開始しています。

## 研修症例および指導体制の特徴

### 〈概要〉

#### 【研修症例】

本院は、宮崎県北地域の中心的医療機関であり、急性期病院としての症例が多い病院です。

一次疾患のプライマリー・ケアから、多発外傷や循環器疾患、脳神経疾患、ハイリスク周産期疾患など高

度医療を必要とする二次・三次疾患の診断・治療を実践し、他の地域・病院では経験しがたい多様な臨床症例を研修することができます。

#### 【指導体制】

本院では、宮崎大学医学部附属病院の研修協力病院として、大学病院の診療科中心の専門的な医療＝縦軸に対し、診療科横断的な多様な症例の検討＝横軸を経験することが可能です。これによりあたかも縦糸と横糸が布を織りなすように、医師としての能力に磨きをかけられるものと考えています。

研修指導の特長としては、平成 21 年度から発足させた「研修医当直制度」、すなわち、本院の特徴的な部門である「救命救急センター」の夜間・休日の当直

において、所属科以外の常勤医師と一緒に当直する制度があります。これにより、他科の医師と接触する機会が増え、診療科を越えた連携を学びつつ、救急医療に従事することが可能となります。

また、平成 22 年度からは、「研修医セミナー」として、各科の常勤医師が持ち回りで、全研修医を対象に、月 2 回「各科独自の救急」をテーマに、講演や実習を行う制度を取り入れるなど、充実した研修内容となっています。

## 《救命救急科》

### 【研修症例】

当院は県北唯一の救命救急センターを要しており、県内で最も多くの救急車を受け入れています。そのため、重症症例も多く、毎年100人以上のCPA症例を受け入れています。

### 【指導体制】

平成29年度より、救命救急科専任医師3名が赴任し、指導体制もさらに充実しています。

平日・昼間に救急車が来た時は、救急外来にて救急専門医の指導の下で、二次、三次の重症救急症例の診療にあたっています。

また、多発外傷、敗血症、薬物中毒等の救急疾患は救命救急科医師が主治医となり、入院を担当して

また、県北での一次救急が脆弱なこともあり、一次救急の症例も多く受け入れており、多彩な症例を診ることが出来ます。

ます。

夜間・休日の当直時には、内科系1名、外科系1名の合計2名の当直医と当直を行いますが、当院はオンコール制をとっていて、重症症例であれば、すぐに担当診療科をコールして、専門的な治療を一緒に行うことができるようになっています。

当院の救急研修の特徴は以下のとおりです。

1. まず症例の数や種類が県内でも圧倒的に多いこと。その診療を実際に自分で行うことにより、臨床力が確実に身に付きます。
2. 救急外来でも手術室でも、当直時でも、各科の専門医と診療にあたるため、各科の専門的な知識の教育が受けられます。
3. 実践力を身につけさせることを目標にしているため、胸腔チューブ挿入や、挿管などの手技は専門医の指導の元で出来るだけ多く行わせるようにしています。
4. 救急外来を診るだけでなく、救急患者の手術と一緒に参加したり、骨折の整復や、心筋梗塞のカテーテル治療を最後まで見学・参加することによって、救急疾患の起承転結を最後まで把握することが出来るようになります。

## 指導医・先輩医師からのメッセージ

来たれ！漲る情熱を抱きし君よ

卒後臨床研修管理委員長（副院長） 寺尾公成

本院は宮崎県北地区にあって、「救急医療」と「高度医療」を兼ね備えた唯一の総合医療機関です。

平成25年3月、ヘリポートを併設した「救命救急センター」がオープンし、同センターの2階には「研修医ルーム」を設置して、「頭上にはヘリコプター！足下には救急車！」を合い言葉に、研修医同志による「**横連携**」のもと、切磋琢磨しながら日々研鑽を積んでいます。また、本院の代名詞的存在である「救命救急センター」の夜間・休日の当直においては、様々な診療科の常勤医師（内科系・外科系）と一緒に当直することで、医師としての「**縦連携**」を学びながら、救急医療に従事する体制を取っています。そして、「研修医セミナー」（月2回開催）と称し、各科の常勤医師が持ち回りで、「各科独自の救急」をテーマに、講義や実習をしたり、「病院学会」（年2回開催）では、全職員の前で演題発表を行うなど、「**Off-the-Job Training**」の充実にも病院を上げてバックアップしています。

豊富な症例・指導医を通して学ぶ研修は、他では決して経験できない貴重なものになるものと確信しています。

情熱ある研修医諸君を待っています。

